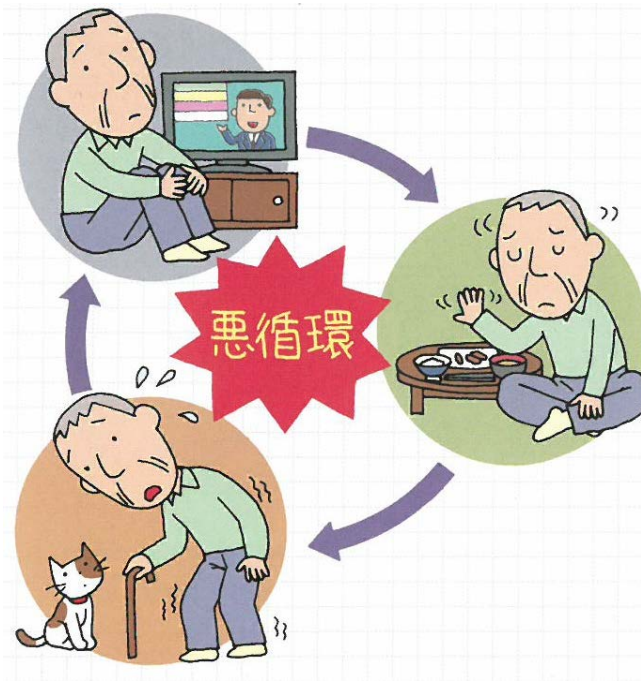


フレイル予防事業

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

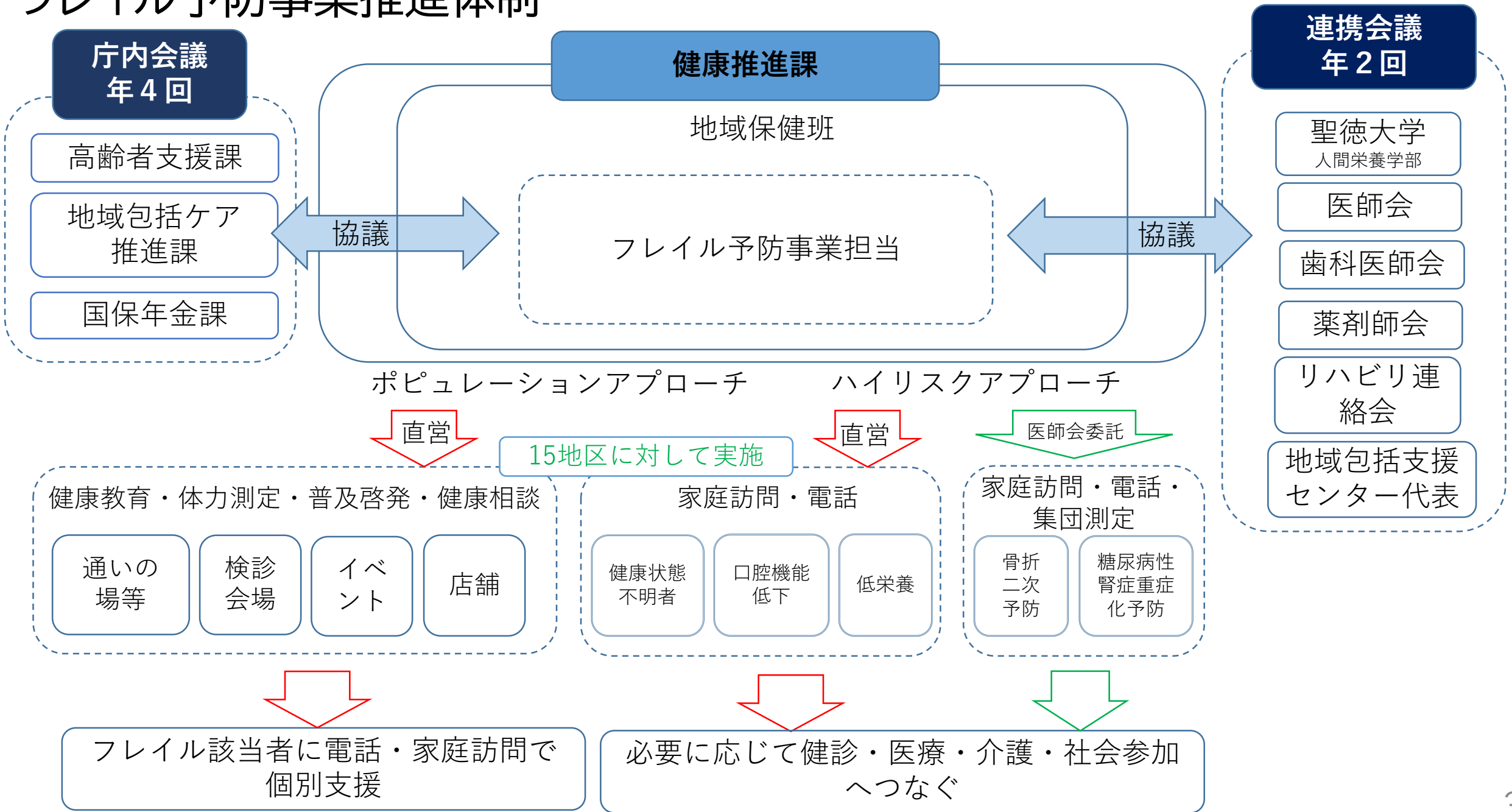


松戸市 健康推進課

概要

- フレイル予防事業実施体制
- フレイル予防事業(一体的実施)内容
- 令和5年度取り組み項目
- 令和5年度スケジュール

フレイル予防事業推進体制



フレイル予防事業(一体的実施)内容

R5.3.末時点

区分	主な事業内容	対象 (令和4年度)	実績					
			令和2年度	令和2年度合計	令和3年度	令和3年度合計	令和4年度	令和4年度合計
ポピュレーション	まつどフレイル予防チャレンジ	通いの場、はつらつクラブなど	6団体15回 延208人	延542人	14団体23回 延274人	延640人	40団体71回 延1,106人	延2,990人
	健康教育（講話・単回）	地区社協、高齢者支援連絡会など	4団体5回 延82人		12団体12回 延205人		24団体27回 延619人	
	普及啓発・出張健康相談	がん検診会場での簡易チェックなど	8回 延252人		42回 延161人		77回 延1265人	
ハイリスク	口腔機能低下	前年度歯科口腔健診受診者のうち項目該当者	未実施	訪問211 電話91 計302人	訪問22人 電話45人	訪問155 電話145 計300人	訪問24人 電話49人	訪問158人 電話169人 計327人
	健康状態不明者	過去2年以上健診・医療・介護の利用のない方	訪問143人 電話28人		訪問55人 電話22人		訪問126人 電話87人	
	その他	フレイル予防チャレンジ3回目該当者など	訪問24人 電話28人		訪問11人 電話23人		訪問8人 電話33人	
	低栄養	脆弱性骨折既往ありかつ骨粗しょう症未治療	訪問44人 電話35人		訪問67人 電話55人		訪問28人 集団指導49人 電話43人	計120人

令和5年度 取組項目

ポピュレーションアプローチ

ハイリスクアプローチ

市直営

住民を巻き込んだフレイル予防の推進

維持

フレイル簡易チェックなどによる幅広い世代への普及啓発

強化

口腔機能低下

拡大

歯科口腔健康診査(76歳)だけでなく
成人歯科健康診査、後期高齢者健診
(医科)からも対象者を抽出

健康状態不明者

低栄養 ※

新規追加

医師会委託

骨折二次予防 ※

糖尿病性腎症重症化予防

新規追加

※令和4年度「低栄養」として委託したが、実態に合わせて名称を変更し「骨折二次予防」として委託。「やせ」の人々から抽出した「低栄養」は市の直営で実施する。

令和5年のスケジュール

送付順

令和4 年度		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月
ポピュ レー ション	健康教育 健康相談												
	イベント						連絡通路 （生活習 慣）					2/1フレ イルの日	連絡通路 （こころ の健康）
ハイリ スク	低栄養			4	（下旬）ア ンケート送 付	未申込者 お誘い 個別1回目	食生活講座	未参加者 お誘い	個別2回目	食生活講座 参加者2回目		個別3回目	参加者3回目
	口腔機能低 下	2	ABアン ケート送 付	AB支援 1 回目		AB支援 2 回目	5 Cアンケー ト送付	C支援 1 回目 AB支援 3 回目		C支援 2 回目		C支援 3 回目	
	健康状態不 明者			前年度不在者 訪問				6 アンケー ト送付	訪問				
	骨折二次予 防（医師 会）	1	新規分ア ンケート 送付	新規分 電話				測定会					事例 検 討 会
	糖尿病性腎 症重症化予 防（医師 会）			3	（下旬）ア ンケート送 付				測定会				
連携会 議ほか					第 1 回連携 会議						第 2 回連 携会議		6

フレイル予防事業の進捗状況 及び今後の事業実施内容

1. ポピュレーションアプローチ

- 1-1 がん検診会場簡易フレイルチェック(普及啓発・出張健康相談)
- 1-2 まつどフレイル予防チャレンジ

2. ハイリスクアプローチ

- 2-1 口腔機能低下
- 2-2 健康状態不明者
- 2-3 低栄養
- 2-4 医師会委託分(骨折二次予防・糖尿病性腎症重症化予防)

1. ポピュレーションアプローチ(令和4年度まで)

区分	主な事業内容	対象	実績					
			令和2年度		令和3年度		令和4年度	
ポピュレーション	まつどフレイル予防 チャレンジ	通いの場、はつらつく ラブなど	6団体15回 延208人	延542人	14団体23回 延274人	延640人	40団体71回 延1,106人	延2,990人
	健康教育 (講話・単回)	地区社協、高齢者支援 連絡会など	4団体5回 延82人		12団体12回 延205人		24団体27回 延619人	
	普及啓発・ 出張健康相談	がん検診会場での簡易 チェックなど	8回 延252人		42回 延161人		77回 延1265人	

【健康推進員】R4年度
事業協力(10月～) 延88人
健康づくり活動 15回

- 令和4年4月 元気応援くらぶにPRの電話かけ実施
6月 小金・新松戸高齢者支援連絡会にてフレイル予防講座実施・紹介
(小金37名、新松戸66名参加)
令和5年3月 新規の元気応援くらぶにPRの電話かけ実施

4.7
倍

現在の実施状況

区分	主な事業内容	対象	実績			
			令和4年度		令和5年度 (R5.6.30現在)	
ポピュレーション	まつどフレイル予防 チャレンジ	通いの場、はつらつクラブ など	40団体71回 延1,106人	延2,990人	21団体26回 延357人	延954人 65歳未満 28.8% 男性9.7% 女性90.3%
	健康教育 (講話・単回)	地区社協、高齢者支援連絡 会など	24団体27回 延619人		4団体4回 延78人	
	普及啓発・ 出張健康相談	がん検診会場での簡易 チェックなど	77回 延1,265人		17回 延519人	

【健康推進員】R5年6月末現在
事業協力 延25人
健康づくり活動 2回

1-1 がん検診会場簡易フレイルチェック

(令和5年6月末実時点 12回中8回終了)

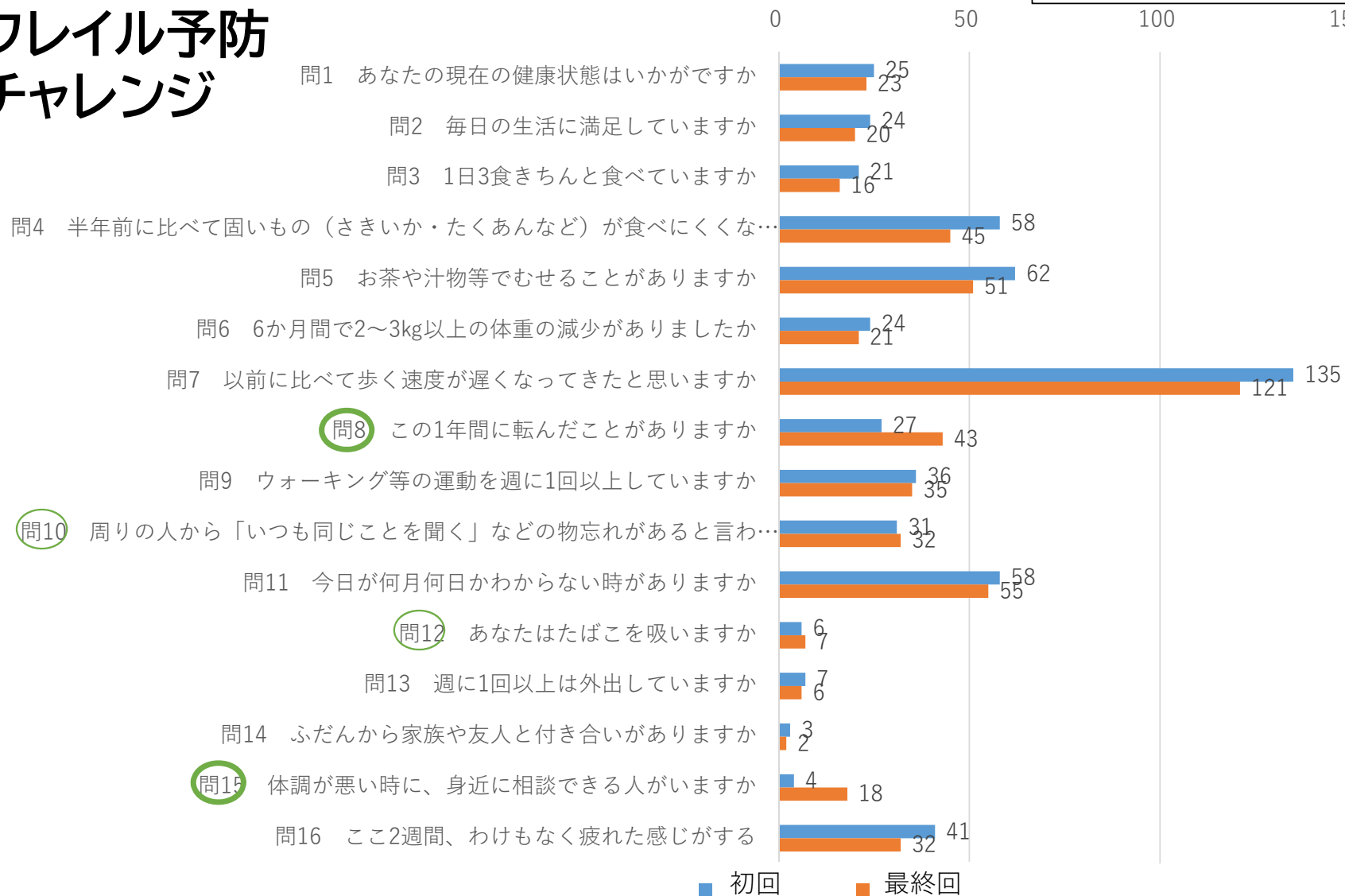
健診種別	会場	参加人数	内65歳未満	男性	女性
大腸がん検体回収	中央保健福祉センター	42	23	12	30
子宮頸がん	中央保健福祉センター	60	35	0	60
乳がん	中央保健福祉センター	92	38	0	92
大腸がん検体回収	小金保健福祉センター	27	5	5	22
乳がん	中央保健福祉センター	47	46	0	47
子宮頸がん	中央保健福祉センター	83	50	0	83
子宮頸がん	市民交流会館	35	2	4	31
乳がん	総合福祉会館	23	7	3	20
乳がん	中央保健福祉センター	82	31	1	81
計		491	179 36.5%	13	37 76.6%

肺がん検診は大腸がん検診と同日に実施のため、検体回収来所者の多くは肺がん検診も受診すると思われる。前立腺がん・肝炎ウイルス検診は個別医療機関のみのため実施なし。胃がん検診終了後は検査終了まで食事ができない状態のため、フレイルチェックに適さないと判断した。

1-2 まつど フレイル予防 チャレンジ

初回・最終回 質問票該当人数の変化（人）

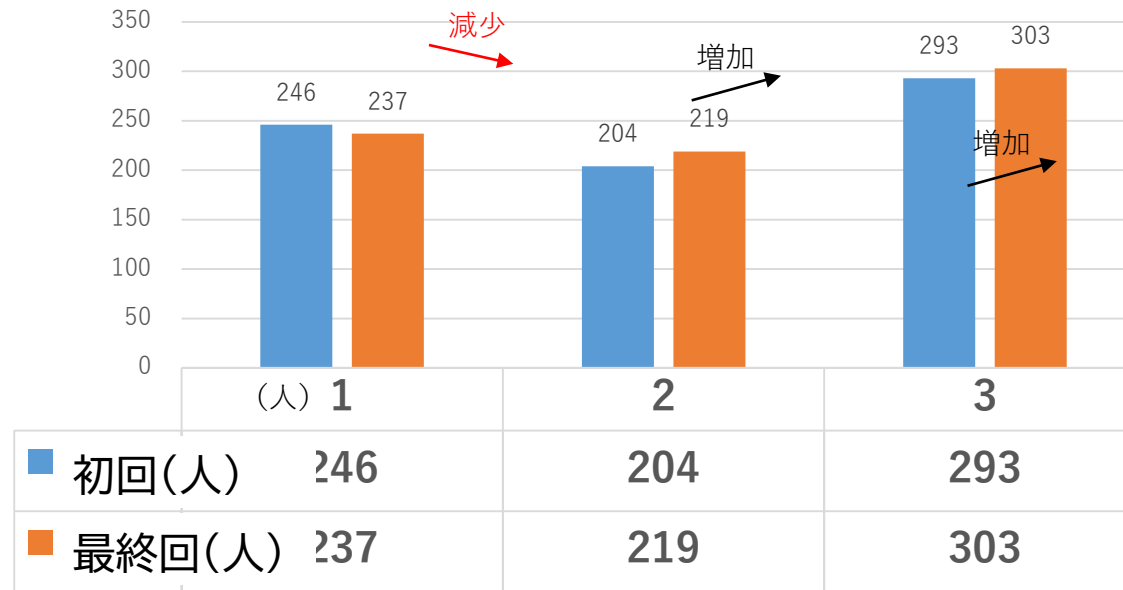
令和5年5月時点
初回と最終回に参加した無回答がない277人



	最終回 -初回	最終回/ 初回
問 1	-2	0.92
問 2	-4	0.83
問 3	-5	0.76
問 4	-13	0.78
問 5	-11	0.82
問 6	-3	0.88
問 7	-14	0.89
問 8	+16	1.59
問 9	-1	0.97
問10	+1	1.03
問11	-3	0.95
問12	+1	1.17
問13	- 1	0.86
問14	- 1	0.67
問15	+14	1.29
問16	- 9	0.78

測定項目	基準値
握力	男性26kg以上 女性18kg 以上
滑舌	6回/秒以上
歩行速度	5秒未満/5m

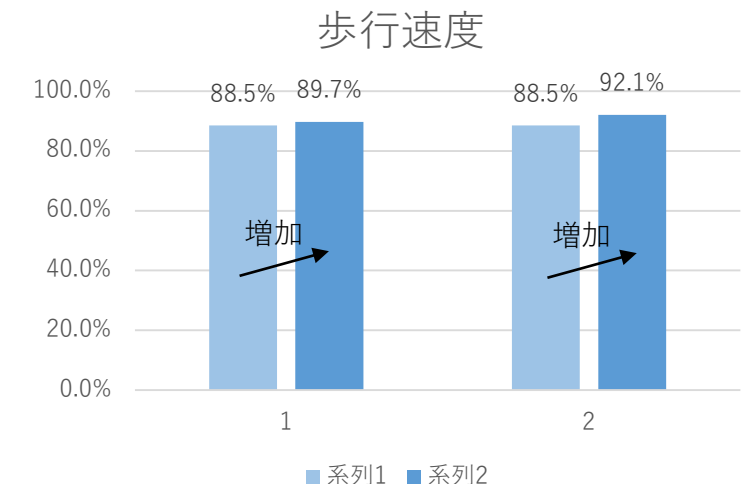
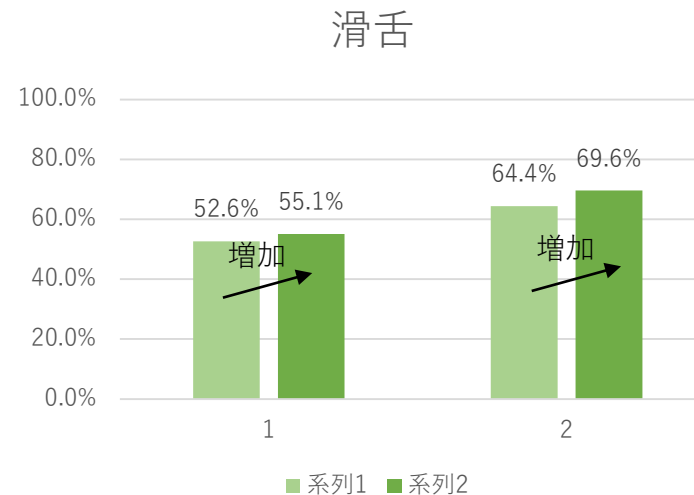
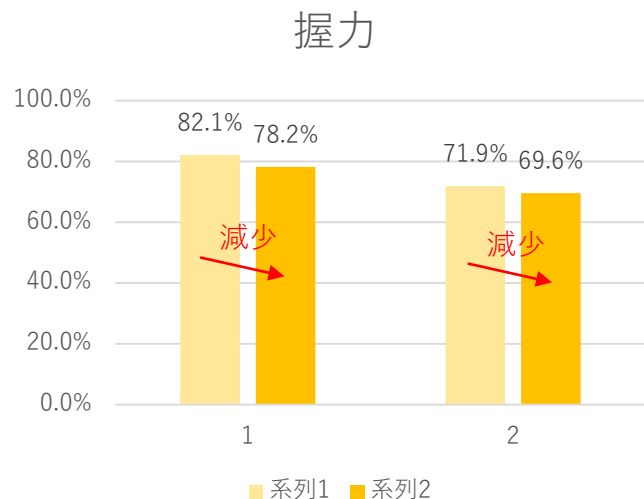
各測定項目 基準範囲内の人数の変化(人)



測定値が基準範囲内の人数は滑舌・歩行速度は増加、握力は減少。
性差なし。

基準範囲内の人の割合
握力 男性 > 女性
滑舌 男性 < 女性
歩行 男性 ≒ 女性

各測定項目 基準範囲内の人数の変化 男女別(男性78人=100%、女性253人=100%)



チェック票裏面アンケート

◎普段の取り組みについて、あてはまるものに○をつけてください

食事	1. たんぱく質を意識してとっている 2. バランスよく食べている 3. 何もしていない 4. その他()
歯	1. 口腔体操をしている 2. 唾液腺マッサージをしている 3. 口腔清掃に気を付けている 4. 何もしていない 5. その他()
運動	1. 歩くようにしている 2. 筋トレをしている 3. スポーツ等(ラジオ体操含む)をしている 4. 何もしていない 5. その他()

チャレンジは行動変容につながっているのか、取り組んだ人と取り組んでいない人で測定値の変化に差があるのかを確認するために、R5年度途中から追加

◎終了後アンケート 終了後にご記入ください

1 今日はどうなことが学びになりましたか
2 今日から取り組もうと思ったことは何ですか
3 その他 ご意見・感想など

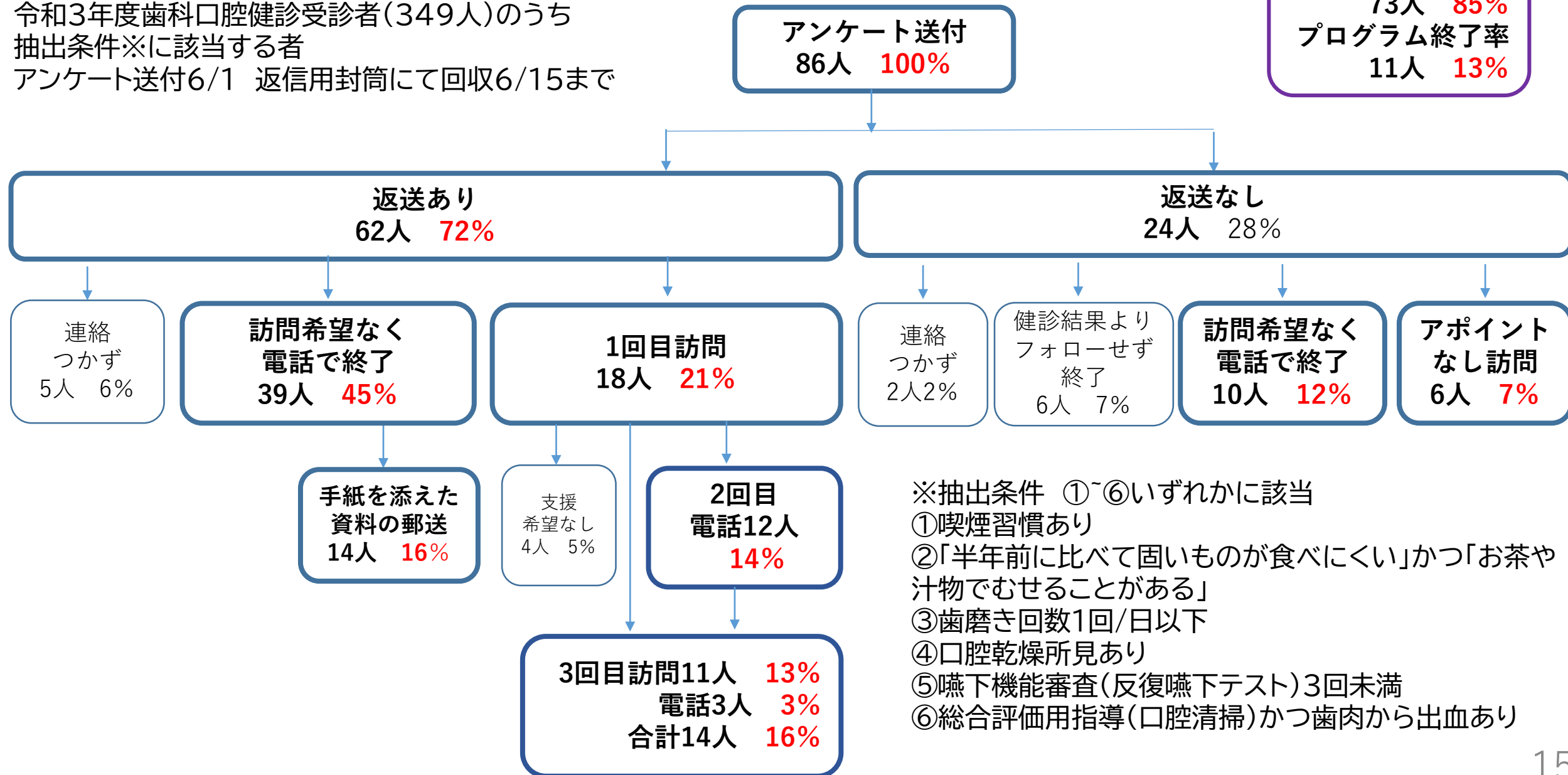
前年度アンケートより
「滑舌が前回より数値が上がった。更に頑張る」「健康状態はチェックしていますが、体力測定はしたことがなかったので、衰えていてビックリです」「体力が落ちているところを取り返したい」「運動と同時に食事もお口の中も大切なことだと思いました」「町会の方々にも知ってほしいと思いました。地域活動に取り入れたい」

2. ハイリスクアプローチ(令和4年度まで)

区分	主な事業内容	対象	実績					
			令和2年度		令和3年度		令和4年度	
ハイリスク	口腔機能低下	前年度歯科口腔健診受診者のうち項目該当者	未実施	訪問211 電話91 計302人	訪問22人 電話45人	訪問155 電話145 計300人	訪問24人 電話49人	直営分
	健康状態不明者	過去2年以上健診・医療・介護の利用のない方	訪問143人 電話28人		訪問55人 電話22人		訪問126人 電話87人	訪問158人 電話169人 計327人
	その他	フレイル予防チャレンジ3回目該当者など	訪問24人 電話28人		訪問11人 電話23人		訪問8人 電話33人	
	低栄養	脆弱性骨折既往ありかつ骨粗しょう症未治療	訪問44人 電話35人		訪問67人 電話55人		訪問28人 集団指導49人 電話43人	委託分 計120人

2-1 口腔機能低下 令和4年度支援結果

令和3年度歯科口腔健診受診者(349人)のうち
抽出条件※に該当する者
アンケート送付6/1 返信用封筒にて回収6/15まで

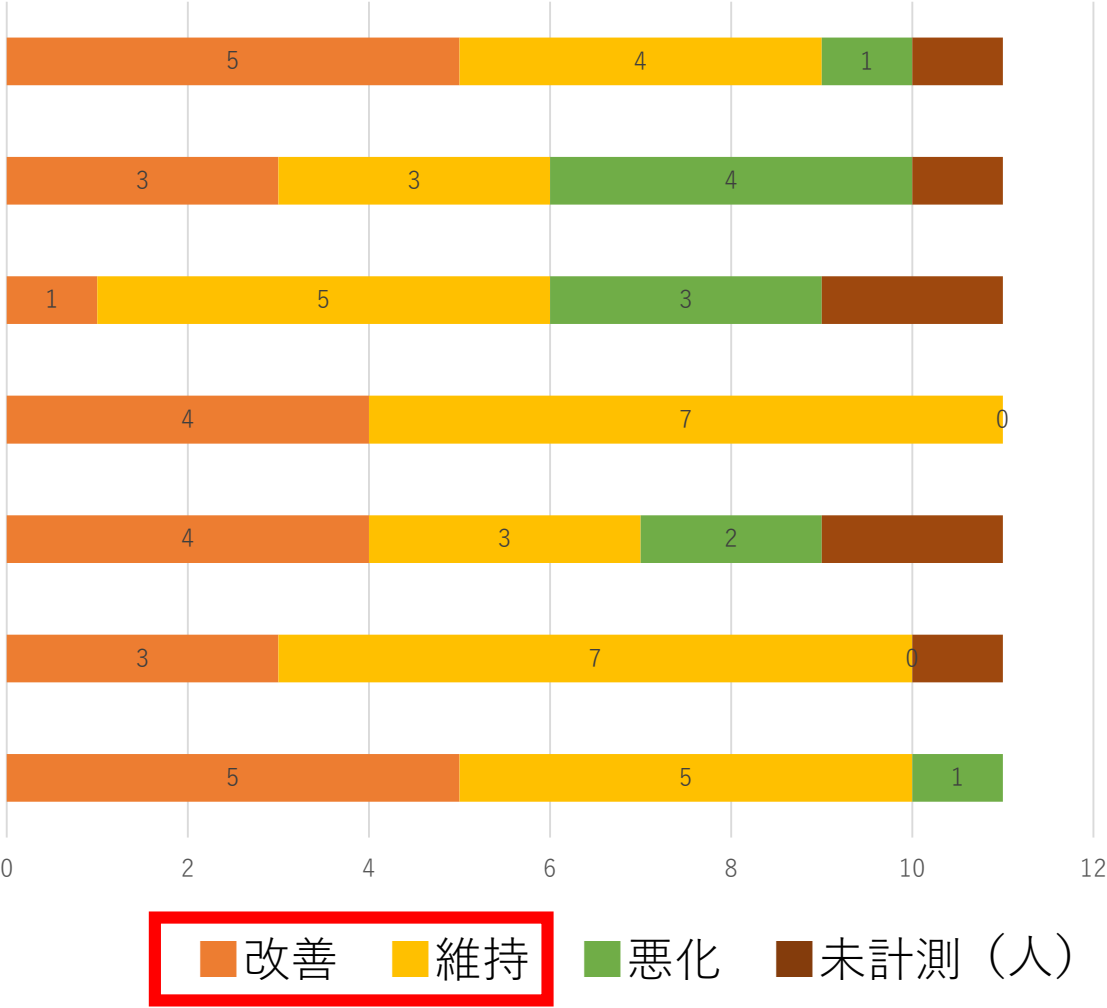


オーラルフレイル予防プログラム 測定結果

プログラム終了者11人の前後比較

	改善	維持	悪化	計	改善・維持率
滑舌	5	4	1	10	90.0%
舌圧	3	3	4	10	60.0%
口腔水分量	1	5	3	9	67.0%
飲み込み	4	7	0	11	100.0%
握力	4	3	2	9	77.8%
立ち上がり	3	7	0	10	100.0%
質問票	5	5	1	11	90.9%

滑舌：改善+0.3回/秒以上、維持±0.2回、悪化-0.3回以上
舌圧：改善+3hPa以上、維持±3hPa未満、悪化-3hPa以上
口腔水分量：改善+3以上、維持±3未満、悪化-3以上
飲み込み：改善+2回以上、維持±1回未満、悪化-2回以上
握力：改善+1kg以上、維持±1kg未満、悪化-1kg以上
立ち上がり：改善+2秒以上、維持±2秒未満、悪化-2秒以上
質問票：改善-2点以上、維持±1点、悪化=+2点以上



オーラルフレイル予防プログラム 測定結果

個別の変化		×:基準値範囲外、○:基準値範囲内 空欄:測定なし 1回目→3回目					
	性別	滑舌	舌圧	口腔水分量	飲み込み	握力	立ち上がり
①	男	○→×悪化	×→×維持	×→×維持	○→○維持	○→○維持	○→○維持
②	男	○→○維持	×→○改善	×→○維持	○→○維持	○→○維持	○→○維持
③	男	○→○改善	×→×悪化	○→×悪化	○→○維持	○→○改善	○→○維持
④	女	×→×改善	×→×維持	×→×維持	○→○維持	○→○改善	○→○維持
⑤	男	○→○維持	○→○維持	×→○維持	○→○改善	○→○悪化	○→○維持
⑥	男	○→○維持	×→○改善	→○	○→○改善	○→○改善	○→○維持
⑦	男	×→	→○	×→×維持	○→○維持	○→	○→○維持
⑧	男	×→○改善	×→×維持	→○	○→○維持	○→○改善	○→○改善
⑨	男	×→○改善	×→×改善	×→○改善	○→○改善	○→○悪化	○→○改善
⑩	女	×→×維持	○→×悪化	○→×悪化	○→○維持	→×	×→○改善
⑪	女	×→×改善	×→×悪化	○→×悪化	×→○改善	○→○維持	測定なし
計	改善	5	3	1	4	4	3
	維持	4	3	5	7	3	7
	悪化	1	4	3	0	2	0

令和5年度 ハイリスクアプローチ対象者(市実施分)

口腔機能低下

A R4年度歯科口腔健診受診者（77歳）S21.4.2～S22.4.1生のうち

①口唇・舌機能検査

②口腔乾燥所見あり

③嚥下機能診査（反復嚥下テスト）3回未満 いずれか1つ以上に該当

介護保険サービス利用者を除く

69人 5月発送済

B R4年度成人歯科健診受診者（80歳）S18.4.2～S19.4.1生

（83歳）S15.4.2～S16.4.1生のうち

①口唇・舌機能検査

②口腔乾燥所見あり

③嚥下機能診査（反復嚥下テスト）3回未満 いずれか1つ以上に該当

介護保険サービス利用者を除く

6人 6月発送済

C R4年度後期高齢者健診受診者（77歳）S21.4.2～S22.4.1生のうち

「半年前に比べて固いものがたべにくい」かつ「お茶や汁物でむせることがある」

介護保険サービス利用者を除く

70人見込⇒9月発送予定

健康状態不明者

R3.R4（2年間）医療・健診・介護なし（78歳）S20.1.1～S20.12.31生

120人見込⇒10月発送予定

低栄養

R4年度後期高齢者健診受診者（77～80歳）S18.4.2～S22.4.1のうち

BMI20.0未満かつ体重2～3kg以上減少

レセプト該当者（認知症、がん、うつ、統合失調症、COPD、糖尿病性腎症、慢性腎不全）、

介護保険サービス利用者を除く

39人7月下旬発送済

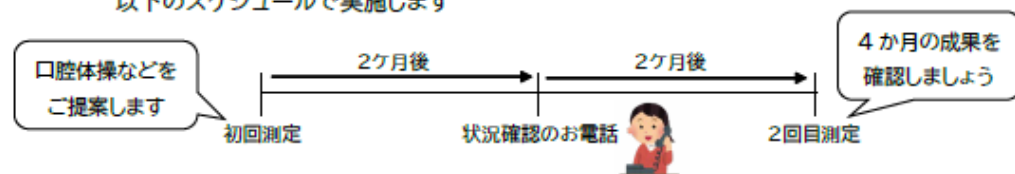
お口の機能チェック(無料)

◇現在のお口の機能や筋力の状態をチェックしてみませんか？
以下の方法で測定します

こんな症状に
心当たりは
ありませんか？

①	口腔水分量 口の中の水分量を測ります		口の中が乾燥している
②	舌圧測定 舌の力を測ります		むせやすい、食べこぼしが多い
③	口腔機能(滑舌)検査 唇・舌の運動機能を評価します		滑舌が悪くなった 聞き返されることが増えた
④	飲み込み検査 30秒で唾が何回飲めるか数え、 飲み込む力を調べます		食べ物や薬が飲み込みづらい
⑤	握力測定 全身の筋力の程度を調べます		ペットボトルのフタが 開けづらい
⑥	立ち上がりテスト 全身のバランス感覚・下肢の 筋力の程度を調べます		歩く速度が落ちた

◇取り組みの成果を確認してみませんか？
以下のスケジュールで実施します



◇測定場所について ※②③も個別での実施です

- ① ご自宅で測定する(職員がお伺いします)
- ② お近くの市民センターで測定する(センターの借用等は市役所職員が行います)
- ③ お近くの保健福祉センター(中央・小金・常盤平)で測定する

歯科B発送時よりアンケートに同封

問28	「お口の機能チェック(無料)」を希望しますか	1. はい	2. いいえ	3. 話を聞いて 検討したい
問29	健康に関する相談をしたいですか	1. はい	2. いいえ	

ご協力ありがとうございました。

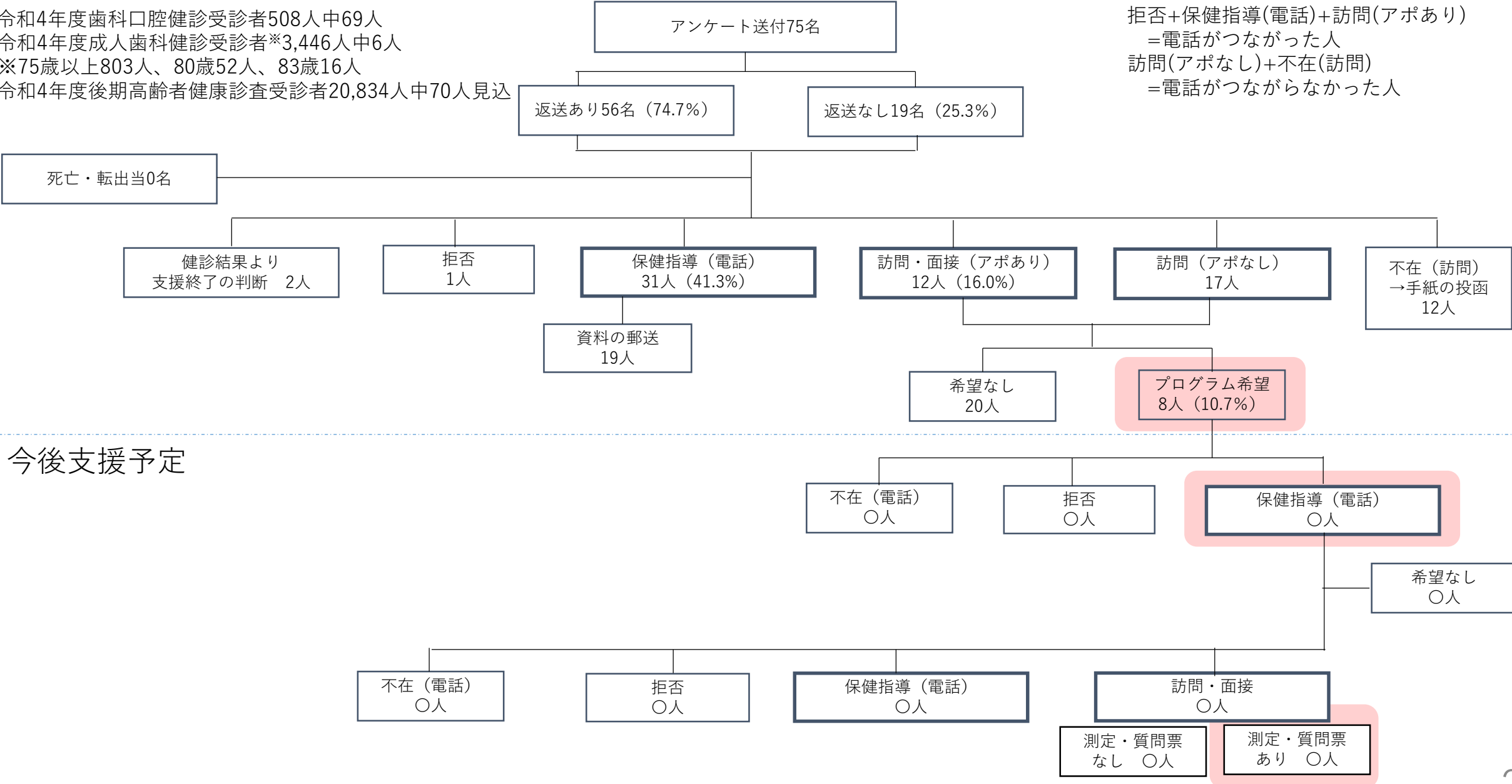
こちらのアンケートを同封の返信用封筒に入れて6月26日(月)までに郵便ポストに投函してください。

口腔機能低下者のためのアセスメント票

氏名 ふりがな	生年月日 年 月 日	性別 男 ・ 女	
1 回目実施日 年 月 日	担当	3 回目実施日 年 月 日	
1 保健行動・自覚症状 (1)歯みがきの回数:()回/日 (2)歯間清掃具の使用:あり・なし(フロス・歯間ブラシ)()回/日・週 (3)かかりつけ歯科:あり・なし() (4)歯や口の困りごと() 2 口腔内状態 (1) 口腔の問題点: あり ・ なし () (2)歯科治療の必要性: あり ・ なし () (3)義歯: あり ・ なし () (4)口腔清掃状態: 良好・普通・不良 () (5)その他特記事項 ()		1 保健行動・自覚症状 (1)歯みがきの回数:()回/日 (2)歯間清掃具の使用:あり・なし(フロス・歯間ブラシ)()回/日・週 (3)かかりつけ歯科:あり・なし() (4)歯や口の困りごと() 2 口腔内状態 (1) 口腔の問題点: あり ・ なし () (2)歯科治療の必要性: あり ・ なし () (3)義歯: あり ・ なし () (4)口腔清掃状態: 良好・普通・不良 () (5)その他特記事項 ()	

令和5年度 口腔機能低下 結果（途中経過）

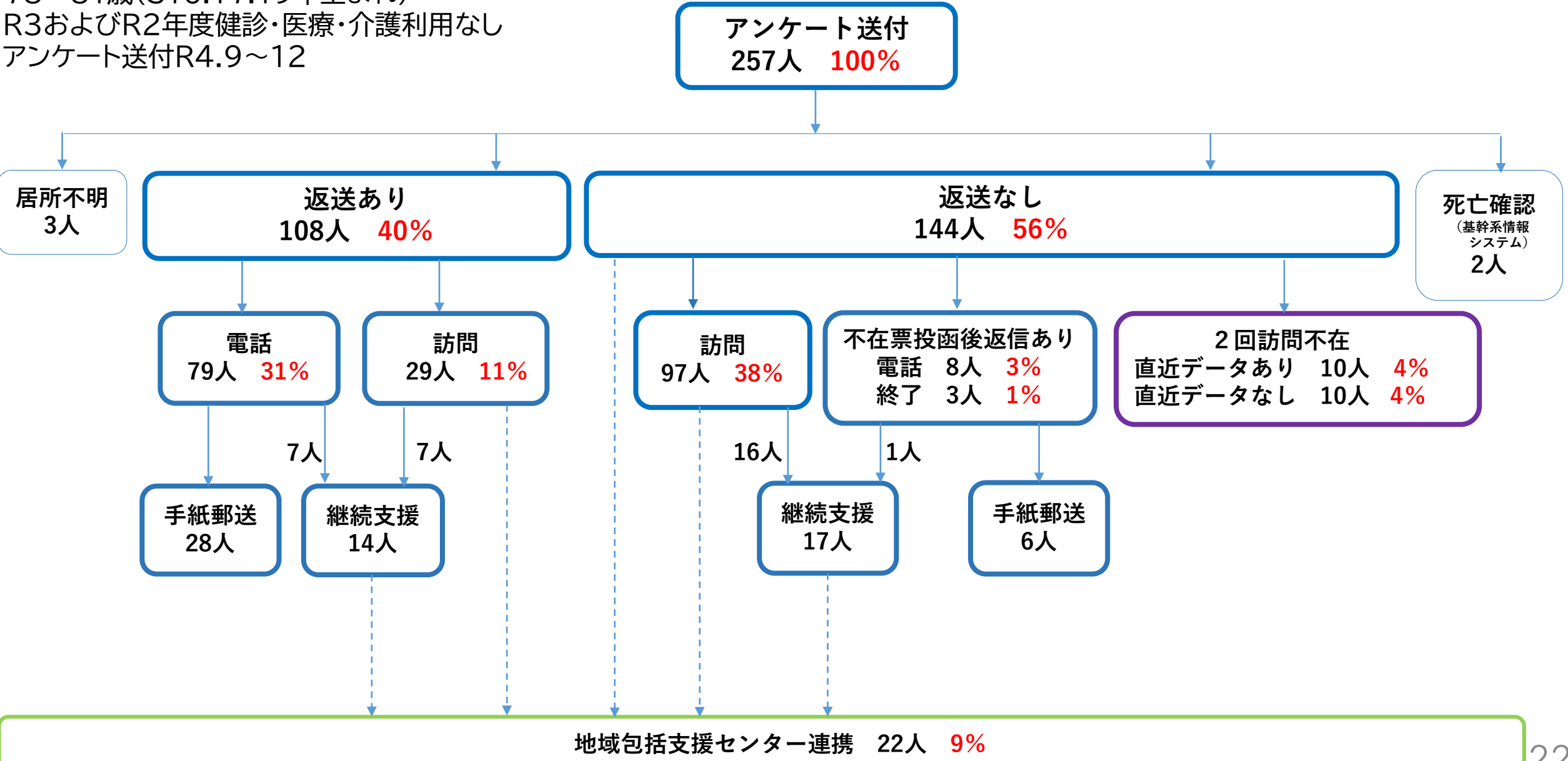
A:令和4年度歯科口腔健診受診者508人中69人
B:令和4年度成人歯科健診受診者※3,446人中6人
※75歳以上803人、80歳52人、83歳16人
C:令和4年度後期高齢者健康診査受診者20,834人中70人見込



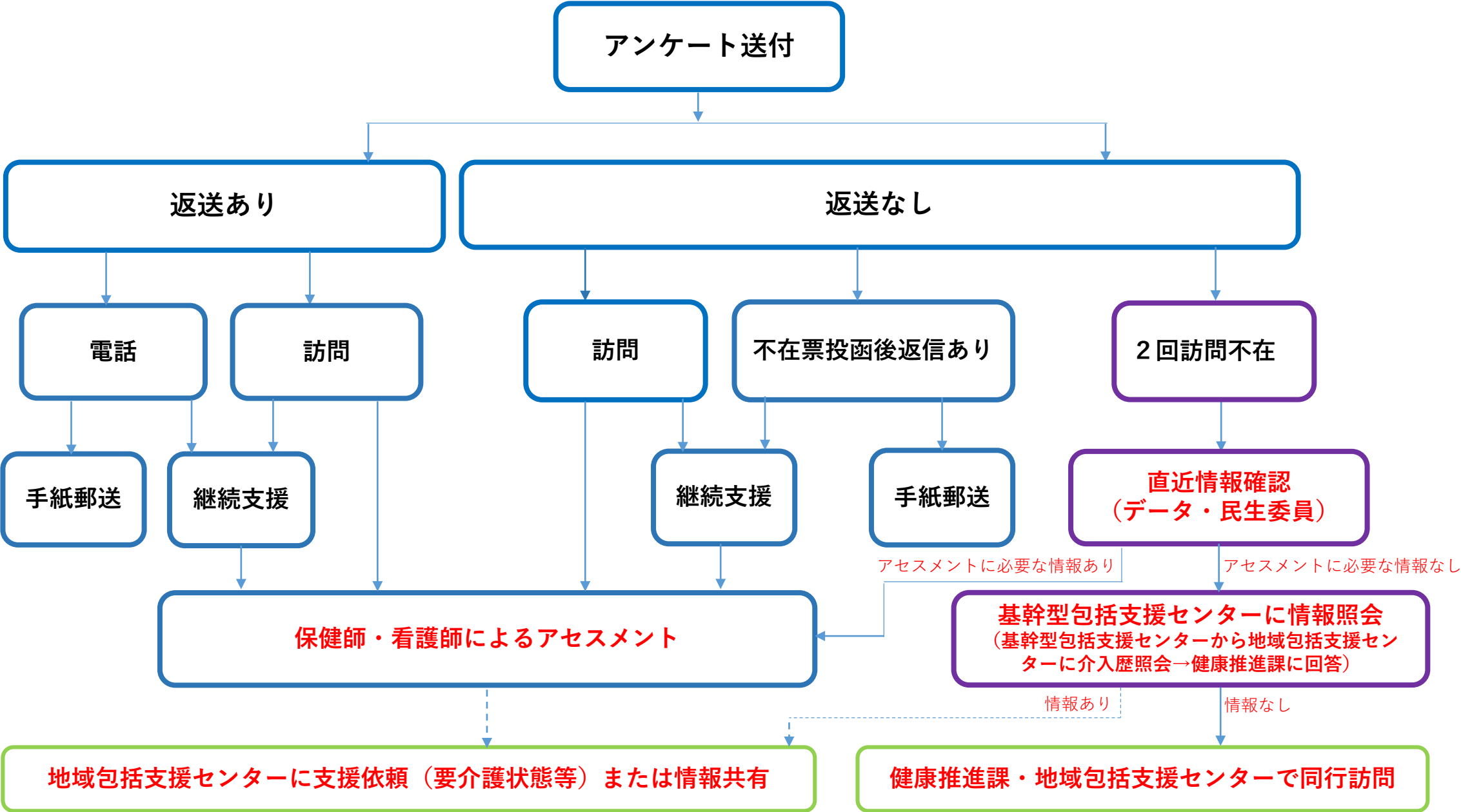
2-2 健康状態不明者 令和4年度支援結果

R5.6.9時点

78～81歳(S16.17.19年生まれ)
R3およびR2年度健診・医療・介護利用なし
アンケート送付R4.9～12

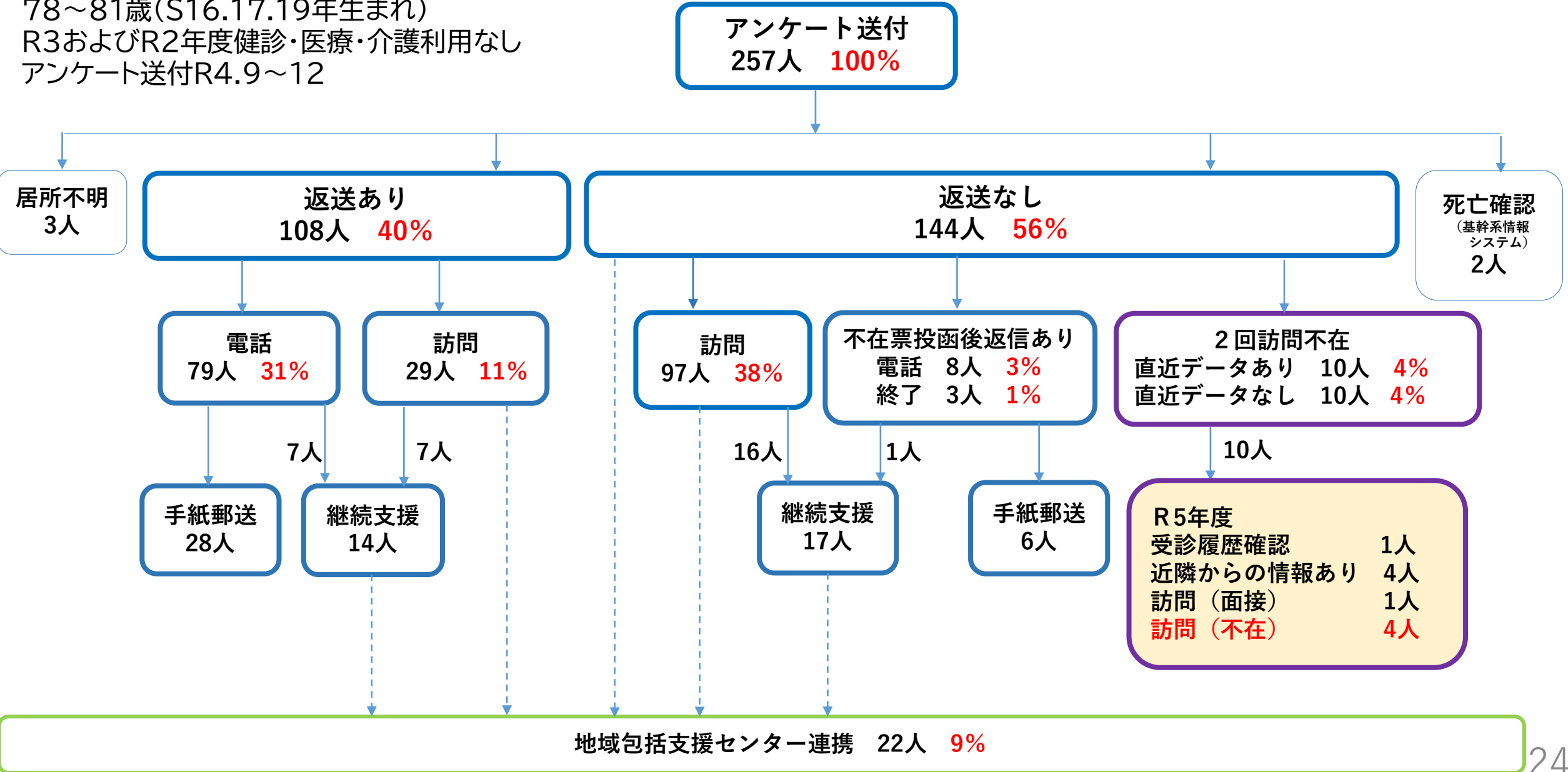


健康状態不明者 フロー(新)



健康状態不明者 令和4年度支援結果（令和5年度再訪問追加）

78～81歳(S16.17.19年生まれ)
R3およびR2年度健診・医療・介護利用なし
アンケート送付R4.9～12



令和5年度 ハイリスクアプローチ対象者(市実施分)

口腔機能低下

A R4年度歯科口腔健診受診者（77歳）S21.4.2～S22.4.1生のうち

①口唇・舌機能検査

②口腔乾燥所見あり

③嚥下機能診査（反復嚥下テスト）3回未満 いずれか1つ以上に該当

介護保険サービス利用者を除く

69人 5月発送済

B R4年度成人歯科健診受診者（80歳）S18.4.2～S19.4.1生

（83歳）S15.4.2～S16.4.1生のうち

①口唇・舌機能検査

②口腔乾燥所見あり

③嚥下機能診査（反復嚥下テスト）3回未満 いずれか1つ以上に該当

介護保険サービス利用者を除く

6人 6月発送済

C R4年度後期高齢者健診受診者（77歳）S21.4.2～S22.4.1生のうち

「半年前に比べて固いものがたべにくい」かつ「お茶や汁物でむせることがある」

介護保険サービス利用者を除く

70人見込⇒9月発送予定

健康状態不明者

R3.R4（2年間）医療・健診・介護なし（78歳）S20.1.1～S20.12.31生

120人見込⇒10月発送予定

低栄養

R4年度後期高齢者健診受診者（77～80歳）S18.4.2～S22.4.1のうち

BMI20.0未満かつ体重2～3kg以上減少

レセプト該当者（認知症、がん、うつ、統合失調症、COPD、糖尿病性腎症、慢性腎不全）、

介護保険サービス利用者を除く

39人7月下旬発送済

令和5年度 ハイリスクアプローチ対象者(市実施分)

口腔機能低下

A R4年度歯科口腔健診受診者（77歳）S21.4.2～S22.4.1生のうち

①口唇・舌機能検査

②口腔乾燥所見あり

③嚥下機能診査（反復嚥下テスト）3回未満 いずれか1つ以上に該当

介護保険サービス利用者を除く

69人 5月発送済

B R4年度成人歯科健診受診者（80歳）S18.4.2～S19.4.1生

（83歳）S15.4.2～S16.4.1生のうち

①口唇・舌機能検査

②口腔乾燥所見あり

③嚥下機能診査（反復嚥下テスト）3回未満 いずれか1つ以上に該当

介護保険サービス利用者を除く

6人 6月発送済

C R4年度後期高齢者健診受診者（77歳）S21.4.2～S22.4.1生のうち

「半年前に比べて固いものがたべにくい」かつ「お茶や汁物でむせることがある」

介護保険サービス利用者を除く

70人見込⇒9月発送予定

健康状態不明者

R3.R4（2年間）医療・健診・介護なし（78歳）S20.1.1～S20.12.31生

120人見込⇒10月発送予定

低栄養

R4年度後期高齢者健診受診者（77～80歳）S18.4.2～S22.4.1のうち

BMI20.0未満かつ体重2～3kg以上減少

レセプト該当者（認知症、がん、うつ、統合失調症、COPD、糖尿病性腎症、慢性腎不全）、

介護保険サービス利用者を除く

39人7月下旬発送済

低栄養(市直営) 現在までの経過

令和2年度 (140人)

- 前年度健診BMI18.5未満かつ前々年度健診時から2kg以上の体重減少がある人
- 76歳以上

令和3年度 (62人)

【骨折既往】 (39人)

- 前年度健診BMI18.5未満かつ骨折の既往のある人
- 76歳以上90歳未満 (介護保険サービス利用者・要介護1以上、前年度対象者を除く)

【3食未満】 (23人)

- 前年度健診BMI20未満かつ質問票3および6に該当する人
- 76歳以上90歳未満 (介護保険サービス利用者・要介護1以上、前年度対象者を除く)

令和4年度：抽出条件を一部変更して医師会に「低栄養」として委託
令和5年度：事業名を「骨折二次予防」として委託

令和4年度：実施なし
令和5年度：抽出条件を一部変更して直営で実施

令和5年度 フレイル予防事業ハイリスクアプローチ(低栄養) 高齢者の食生活講座

対 象

おおむね60歳以上の市民 18名

1. ハイリスクアプローチ(低栄養) アンケート送付対象者(77～80歳)
2. 「広報まつど」の一般募集

目 的

健康と食生活について学び、今後も健やかな生活を送る為のてがかりとする。

内 容

1. オリエンテーション
2. フレイルチェック
3. 講話～フレイル予防のポイント～
(運動、口腔ケア、体操、低栄養)
4. おすすめ料理の紹介、試食
5. 質疑応答



たんぱく質が摂れるメニュー紹介

場 所 回 数

3保健福祉センター(中央、小金、常盤平)、9月、12月 計6回開催

備 考

ボランティア(健康推進員、食生活改善サポーター)によるサポート。

問30	健康に関する相談をしたいですか	1.はい	2.いいえ
-----	-----------------	------	-------

★高齢者の食生活講座・体力測定を実施します★（内容・日程は同封のチラシをご覧ください。）

参加を希望される方は、どれか1日に○をつけてください。

どれか1日に ○をつけてください	日 時		会 場
	9/5(火)	10時 ～ 12時	中央保健福祉センター
	9/21(木)		常盤平保健福祉センター
	9/28(木)		小金保健福祉センター

ご協力ありがとうございました。

12/6(水)常盤平保健福祉センター
12/13(水)中央保健福祉センター
12/20(水)小金保健福祉センター

令和5年度 フレイル予防事業ハイリスクアプローチ(低栄養)プログラム

講座、訪問、電話、郵送
を組み合わせる行う

初回

アセスメント

相談・助言

フレイルチェック票
握力、滑舌
5回立上りor5m歩行
食品摂取表(10品目
チェックシート)

食生活講座

アセスメント

必要に
応じて

受診勧奨
かかりつけ医への相談
地域包括支援センター
と連携

2回目
3か月後

セルフケア状況等の確認

相談・助言・改善計画の見直し

3回目
6か月後

フレイルチェック票
握力、滑舌
5回立上り
食品摂取表(10品目
チェックシート)

セルフケア状況等の確認

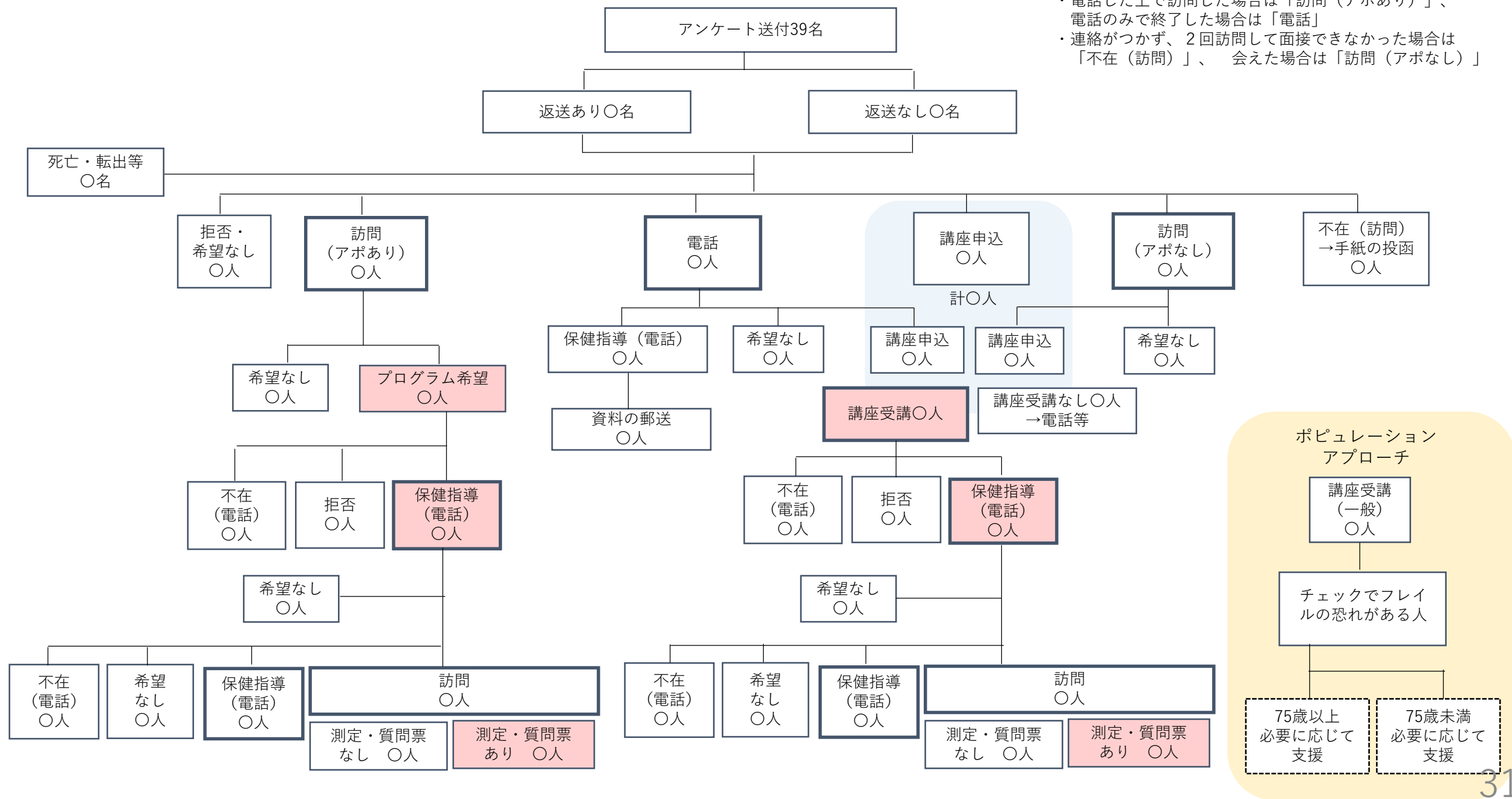
支援終了・評価

通いの場など

令和5年度 低栄養

分類について

- ・電話した上で訪問した場合は「訪問（アポあり）」、電話のみで終了した場合は「電話」
- ・連絡がつかず、2回訪問して面接できなかった場合は「不在（訪問）」、会えた場合は「訪問（アポなし）」



低栄養者の要因と支援内容（令和2年度訪問した44人から作成）

体重減少の要因（重複あり）		該当者数	該当率	支援している内容（あくまで主治医からの指導が前提であることは説明）
生活上の問題	精神疾患・ストレス	14	32%	傾聴、共に解決策を考える
	経済的理由	3	7%	安価な食材で作れるレシピの紹介、経済問題の担当部署に相談
	活動量・活動意欲低下	3	7%	運動(必要性・方法・頻度など)助言、家事など家庭内の役割を提案
	食生活の問題(1日3食未満、生活リズム不規則・調理できないなど)	9	20%	食生活(3食の必要性、分食や間食、総菜の選び方、栄養補助食品の使用)助言、配食の紹介
	消費エネルギー過多(1日4時間以上歩くなど)	12	27%	目標運動量、消費した分のカロリー摂取の方法を説明
	知識不足(太ってはいけない、適正体重を知らないなど)	5	11%	適正体重を計算、知識の是正
口腔	義歯不適合、口腔機能低下等	18	41%	歯科受診勧奨、口腔体操、唾液腺マッサージ、口腔清掃の助言
疾患	消化器疾患（胃癌手術後、慢性胃炎、逆流性食道炎など）	23	52%	分食や食形態、栄養補助食品の紹介
	便秘症	13	30%	運動、水分摂取・食事（食物繊維、発酵食品の積極的摂取）の工夫
	呼吸器疾患（COPDなど）	4	9%	消費エネルギーが多いため摂取も多くする必要があることを説明（食形態、分食、栄養補助食品の紹介）
	パーキンソン病	2	5%	
	糖尿病	12	27%	
	心疾患	15	34%	
	腎疾患	3	7%	
加齢	自然減	9	20%	今よりも食事の量・質を上げる方法を共に考える
その他	入院歴（過去4年未満）	3	7%	体力の回復とともに食事量も回復しているか確認、助言
	整形外科疾患などの痛み	5	11%	疼痛コントロールについて医師に相談するよう助言
	身体症状(頻尿・かゆみなど)の悩み	2	5%	対処方法、予防について助言、受診勧奨

令和5年度 ハイリスクアプローチ対象者(医師会実施分)

骨折二次予防	対象者	新規 R4年度医療レセプトより（77歳～79歳）S19.4.2～S22.4.1生のうち脆弱性骨折既往者。 要介護認定者、<u>密な治療</u>を受けている人を除く。 （常盤平・常盤平団地圏域） ※密な治療：63日以内のビスホスホネート内服処方、注射薬（副甲状腺ホルモン、モノクローナル抗体、ビスホスホネート）による治療 100人見込⇒109人 5月発送済 継続 前年度集団測定会場や訪問にて支援し、フォローが必要な人。 （明第1・本庁・新松戸圏域）
	実施方法	対象者にアンケートを送付し、回収したアンケート結果に基づき、電話での保健指導と集団測定会を行う。 アセスメント結果に基づいて、低栄養・転倒及び骨折を予防するための栄養指導・運動指導、受診勧奨を行う。 また、前年度対象者のうちフォローが必要な者の事後支援を行う。 ※アセスメント項目：栄養状態（簡易栄養状態評価表）、口腔嚥下機能、身体機能（体組成、握力等）、転倒リスク評価（アンケート、身体機能測定等）他

令和5年度 ハイリスクアプローチ対象者(医師会実施分)

糖尿病性腎症重症化予防

対象者

圏域：
明第2西
明第2東
小金
小金原
馬橋西
馬橋

(1)R4年度後期高齢者健診受診者（77～79歳） S19.4.2～S22.4.1生のうち
尿蛋白(±)以上かつ糖尿病診断歴あるが4か月以上の糖尿病治療中断者。
要介護認定者を除く。

55人⇒7月下旬発送予定

(2)R4年度後期高齢者健診受診者（77～79歳） S19.4.2～S22.4.1生のうち
尿蛋白(+)以上かつ糖尿病受診継続者
e-GFR30未満および腎臓病専門医受診中の者、要介護認定者を除く。

50人⇒7月下旬発送予定

(3)R4年度後期高齢者健診受診者（77～79歳） S19.4.2～S22.4.1生のうち
HbA1c7.0以上かつ糖尿病診断歴なし
要介護認定者を除く。

10人⇒7月下旬発送予定

(4)R4年度医療レセプトより（77～79歳） S19.4.2～S22.4.1生のうち
糖尿病診断歴あるが4か月以上の内科受診中断者
R3年度・R4年度後期高齢者健診受診者および要介護認定者を除く。

15人⇒7月下旬発送予定

実施方法

対象者に対し、アンケート送付または医療機関連携を行い、電話・訪問にて保健指導を実施し、集団相談会の開催を実施する。
アセスメント結果に基づいて、糖尿病性腎症重症化を予防するための栄養指導・運動指導、受診勧奨等を行う。
※アセスメント項目：生活および食事状況、口腔嚥下機能、身体機能（体組成、握力等）、HbA1cほか

令和5年度ハイリスクアプローチ 対象者 重複調整

	送付順		①	②		③		④	⑤	⑥
	送付時期	前年度	5 月	5月		7月		7月	9 月	10月
表記 年齢	生年月日	骨折 継続	骨折 新規	歯科 A	歯科 B	糖尿病 (1)~(3)	糖尿病 (4)	低栄養	歯科 C	健康状態 不明者
77歳	S21.4.2～S22.4.1		○	○		○	○	○	○	
78歳	S20.4.2～S21.4.1	○	○			○		○		4～12月生
79歳	S19.4.2～S20.4.1	○	○			○		○		1～3月生
80歳	S18.4.2～S19.4.1	○			○			○		
83歳	S15.4.2～S16.4.1				○					
		50人	100人	50人	10人	115人	15人	100人	70人	120人

各項目(市および医師会実施)に重複して該当した場合は抽出時期の早い項目を優先し、いずれか1つの項目の対象者とする。